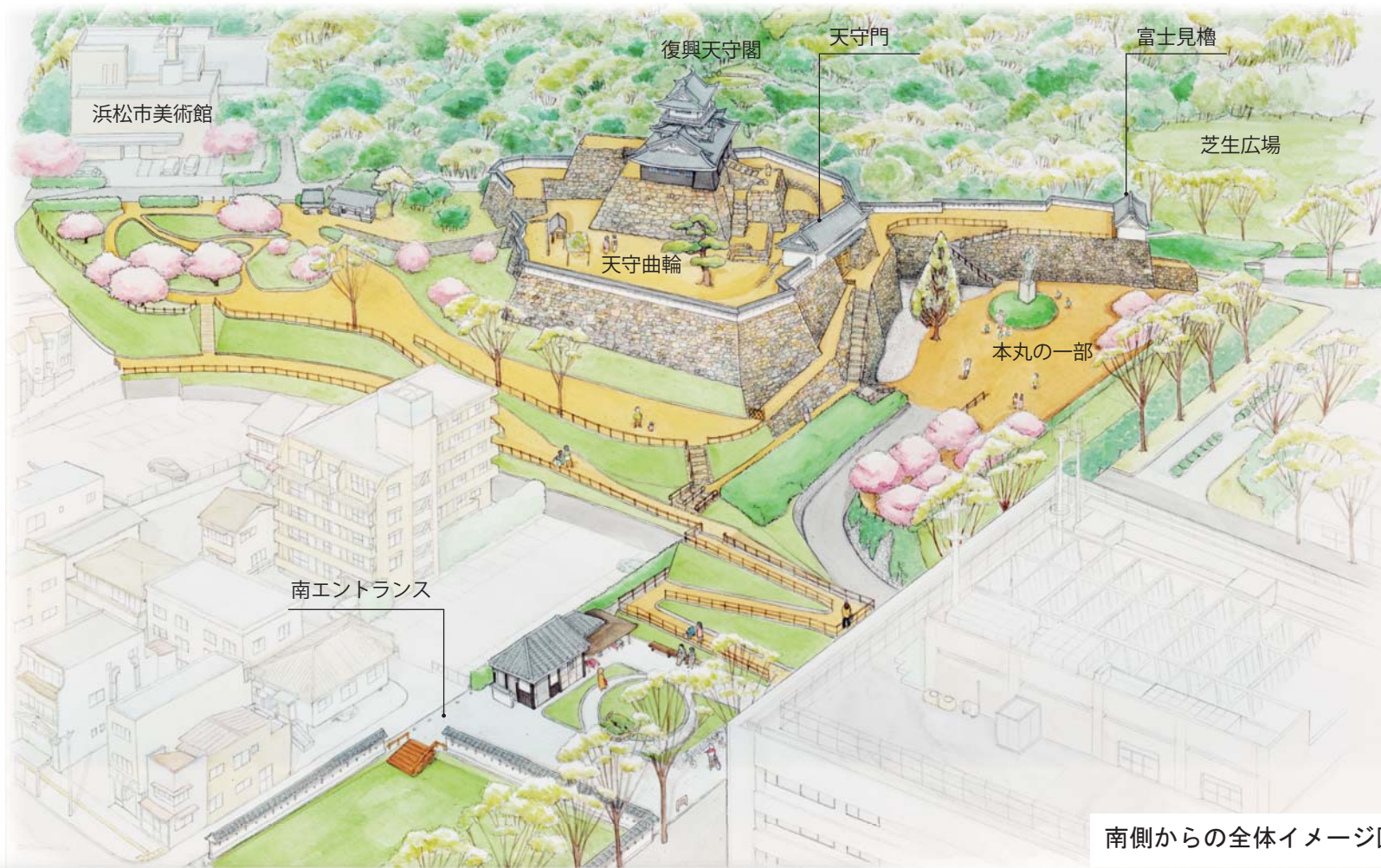


# 浜松城公園歴史ゾーン イメージ図①

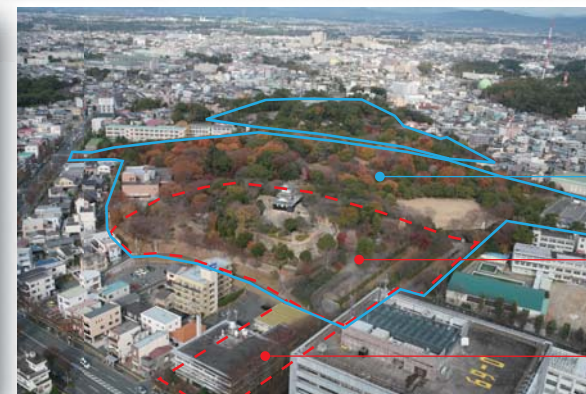


南側からの全体イメージ図

## 歴史ゾーンの区域と整備の基本的な考え方

浜松城は、徳川家康が築城し、17年間を過ごした城であり、出世城とも言われます。浜松城公園は、浜松城跡を中心に昭和25年に開設されました。天守曲輪や本丸には、戦国時代に堀尾吉晴ほりお よしはるによって築かれた野面積みの石垣が残り、当時の面影が伺えます。昭和33年には、天守台に天守閣が復興されました。

浜松城公園歴史ゾーンは、浜松城の中核であった天守曲輪を中心にした区域です。そこで、歴史ゾーンが、浜松市の礎を築いた歴史・文化のシンボル、市民の心の拠りどころとなるよう、浜松城跡としての価値を明らかにして、わかりやすく公開し、次世代へ継承していきます。併せて、都心方面から歴史的な空間へのアプローチを向上させるため、浜松城公園全体の歩行者向け入口である南エントランスを整備していきます。



浜松城公園 10.87ha

歴史ゾーン 1.8ha

南エントランスゾーン 0.2ha

空中写真 平成22年12月撮影